

オーケストラ、素晴らしいかったです。学生のマイロの人が入っていないと聞き!!です。音楽を愛する方々それぞれ道の道でも☆ (K.M)

大きくはばたき、世界の京大であって欲しい (K.K./卒業 修了生)

がんばって下さい。又、よせていただきます。コーラスで楽しませていただきました。 (T.T)

京大合唱団は高校時代のあこがれの的でした。08の方は多数おられると思うので、是非昔のメンバーを集め、昔の迫力ある歌声を待っています。頑張ってください (ちよこ節/理学部卒)

世界に冠たる京大に! (通行人A)

ノーベル賞目指せ! (O.N)

生活カッて一番大切です (Y.M/元京大生の妻)

・今しかできないことを全力でやりとげてください!! (K.T/教職員)

・京大オケの皆様、応援しています。 (K.T)

・若いうちに海外(特に発展途上の国々)に滞在して生活体験し、日本のあり方(良い面、悪い面を含めて)を考えてもらいたい。 (Y.T/1968年 工学研究科修了)

・この環境を手に入れた以上、勉強はしたい方がいいですよ。 (笹原 浩/卒業 修了生)

・アルバイトでも飲み会でも、ついでに勉強でも、いつでもエネルギーに疲れたらすぐ逃げて眠って。良いと思ったこと、やりたいことすぐにやって。『青年よ急げ! 時間は少ない!』 (Y.K./工学研究科修了)

京都の空気をいっぱい吸って、悔いのない学生生活を送って下さい。 (T.K/経済)

京大交響楽団の演奏は毎年素晴らしいです。今後も頑張ってください。 (橋本 晴代/教職員)

・京都に住んで学生生活を送れることを十分に生かしてください。専門外でもいろいろ吸収できることがあります。 (Y.H./農学部卒)

・自由度の高い校風と伝統をフルに生かし、サークル活動にも学問にも、人生を謳歌して下さい! (伏木 雅人/1983年 医学部卒)

・独創的な研究を目指すとともに、思いやりや謙虚さを忘れないようがんばってください。 (S.H/1986年 医学部卒)

天下の京大生! 東大に負けるな!! チェストー (M.T./子供が経済学部卒)

13th Kyoto University Homecoming Day 2018

在学生へのメッセージ

昨年11月3日に第13回ホームカミングデイが開催されました。テーマの「^{つづ}継」にちなんで、卒業生や参加者から在学生に伝えたいメッセージを頂きました。

- ・僕から伝えられることは、棒野に行くときは絶対におしゃれで行くな、という教訓のみです。 (佐野 光/2018年 経営管理教育部卒)
- ・日本の未来を夢のあるものにして下さる様にがんばってください。 (K.A)
- ・既成概念にとらわれず、探求する、学園生活を楽しむ京大生を期待しています。 (徳永 隆司)
- ・若い時期は短いので、勉強、読書やいろいろな経験を積んで、内面を磨いてください。 (O.H./農学部卒)
- ・在学中はもちろん卒業してから、京大生であったことがずっとありがたいです。学生生活を思いっきり楽しんで下さい。 (H.Y./農学部卒)
- ・地道な努力を継続すれば、必ず道は拓ける。私はこれをモットーに、様々な困難を乗り越えて来ました。これは京都大学の学風にも通じるものがあるのではと、考えます。在学生の皆さん、努力を惜みず、頑張ってください。 (I.M./1969年 工学部卒)
- ・学生の時の友達は、年令を重ねても、一瞬にして学生時代にもどることができかけがないものです。どうぞたくさん友達をつくって下さい。 (K.Y./1981年 農学部卒)

ホームカミングデイとは?

京都大学ホームカミングデイは、年に一度の京都大学に関わる全ての方々との交流イベントです。卒業生の方には母校でなつかしい同窓生や恩師との交流を深めていただき、一般の方々には本学についてより広く知っていただく機会としています。第14回は、2019年11月2日(土)に開催します。

http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/social/hc_day/

企画・制作: 京都大学総務部渉外課 同窓会事務局



大学時代に最も大切なのは「出逢い」である。人に限らず、学問、音楽、書籍、映画、スポーツなどなど、一生をかけて付き合うものに出逢う可能性が最も大きいのが大学時代だと思う。一生モノに出逢うためには、まずは、その選択肢を増やすことが肝心の多少のことは許される学生時代、あっちゃこっちゃに顔を出して、とっ散らかっても、どんどん新しいものに出逢って、自分の魂が本当にびりびりと痺れるような瞬間を味わってほしい。長く、深く付き合って、自分の人生を豊かにしてくれるものを見つけてよ。きつと見つかる。きつと出逢える。 (S.S./1989年 理学部卒)

卒業から10年経ち、20年経ち、30年経つと「ああ、大学時代に、もっと〇〇しておけばよかった!」と後悔することがある。間違いなく、ある。そして、その〇〇は、学生時代には気づかないことが多い。では、どうするか。もう、我武者羅に毎日を過ごしてみるというのはどうだろう。我武者羅に勉強をする。我武者羅に部活に取り組む。我武者羅に人に会う。我武者羅に旅に出る。我武者羅に本を読む。そして、たまには、我武者羅にぼんやりする。なんでも我武者羅にやって許されるのが、大学時代だ。我武者羅、我武者羅と書いていたら、頭の中にかラムマサラがやって来た。今夜はカレーにしようと思う。 (S.S./1989年 理学部卒)

地に合う勉学に励め (Y.N./卒業 修了生)

世界へチャレンジ (K.K./卒業 工学部電気系教室 元教員)

不言実行 (尾崎 和義)

悪いことは言わない。遊びもいじめも、勉強もしてあげ。私に、社会に出て後悔することになるぞ。 (M.S. 2012年 経済学部卒)

勉強するにせよ、クラブ活動に打ち込むにせよ、な〜んにもしないにせよ、大学時代はとも贅沢な時間だな、と振り返って思っています。いましかできない過ごし方を、たっぷり味わってください。 (K.Y./1995年 農学部卒)

月日の経つのは早いもので、何時の間にか89才になってしまいました。年をとると体力も衰えて参ります。若い時に精一杯やりたいことをやってください。 (今日は車を運転して来ました) (徳永 良夫/1953年 経済学部卒)

京大卒でも何でもありませんが、京大の一般講座や変人講座に何度も通わせてもらってます。山極総長が素敵なのもあります。笑。先日はノーベル賞受賞おめでとございます。在学生のみなさんも、楽しい研究をして下さいね! (M.K)

正直なところ、大学受験以降、めげけがら化したり、自分の無カさが嫌になる人がいるでしょう。しかし、この大学には素晴らしい人々がいます。そういう人に会いにいきましょう。 (N.F./農学部から人・環卒)